

## みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2005/08/21 Vol. 66 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / mmirai@kitemachi.com

### 印西市議会/平成 17 年第 2 回定例会報告 ( 6 )

いつもお世話になっております。印西市議会第 2 回定例会 ( 6 月議会 ) は、6 月 24 日 ( 金 ) までの会期にて行われ、閉会しました。今回は、6 月議会での私からの一般質問、市執行部からの回答を中心に報告していきたいと思っております。

**6/14 ( 火曜日 ) に、代表質問に立ちました。**

以下、市当局の回答です。

#### 3. 印西市の図書館のあり方について

印西市においての図書館の運営方針は「図書館法の精神に則り、市民の学習と文化の発展に寄与するため、必要とする資料・情報を提供する。これを誰もが適切な状態で利用でき、親しめる交流の場となるよう、図書館奉仕の向上に努める」とある。

一方、現状を鑑みると平成 13 年 2 月 24 日に図書館審議会より答申を受けた「印西市図書館システム及びネットワークについて」に記載されている問題点の解決も十分に図られているとは思えない。このギャップを印西市ではどのように埋めて、今後の図書館の運営を行っていくのだろうか。また、印西市は今後どのような図書館政策を掲げ、市民に提示していくことができるのだろうか。

- 3) 平成 16 年度の印西市立図書館年報を見ると、リファレンスカウンターの利用件数が記載されているが、ここに記載されている数字はどのような内容のものであるか。  
また、印西市が考えるリファレンスサービスとはどのようなもので、現行どの程度、実現されているか。ここでいうリファレンスサービスの理想と現実とはどの程度の差があり、理想はいつ実現し、その障害となるものは何か。

#### ( 回答 / 教育長 )

まず、利用件数の内容でございますが件数全体の 8 割程度は、書名、蔵書の有無など図書資料などの探索に関する相談であり、残りが文化財に関することの調査、歴史上の人物について調べるためにどのような資料で調べれば良いかや、市の歴史を調べるための方法など調査や研究のための、相談や依頼となっております。

これらの案件については、検索し蔵書のあるものはすぐに貸し出せる資料かどこにあるかをご案内するほか、自館に蔵書がないものや資料の揃わないものについては、相互協力等のネットワークを活用し取り寄せるとか、どこに行けば確認できるかなど、利用者と相談しながら納得していただけるよう回答しているところでございます。

市といたしましては、リファレンスを利用者の調査研究や読書需要にあたって、図書館を効率よく利用していただけるよう、質問や相談を受け、必要な資料などを探し出す方法や、手段をアドバイスし情報を提供するサービスと認識し、図書館が情報の発信基地として、その活動や要望を支援していくことが今後のリファレンスサービスの充実につながるものと考え、努力しているところでございます。

しかしながら、限られた状況の中では、資料不足・情報不足などの課題があるのも事実でございます。また、新たな活動や調査研究の多様化、要望の拡大に対する支援などを考えると、図書館のリファレンスサービスに、「これで終わり」ということは無いものと考えております。

#### ( ぐんじとしのりから執行部への意見、再質問 / 抜粋 )

公共図書館の目的は知識と情報の提供であるはずですが、そうなると、重要なのはリファレンスサービスではないか。回答ではリファレンスの仕事は理解されているようなので安心しましたが、残念ながら市民には浸透していないように思います。どうやって今後浸透させていくか考えてもらいたい。

図書館の経営にとって最も重要なものは理念です。理念に基づいて政策が作られ、サービスのありかた、運営方針が決定される。印西市はどのような図書館を目指すのでしょうか？ 再質問を行います。

目指すべき図書館像・理念は持っているか。どのような図書館を印西市はつくりたいのか？  
（運営方針とは「違うもの」ですよね？） 特色のある図書館とは何か？

図書館の専門性を考えると専門職の司書配置を今以上にすすめ効率の良い市民サービスを  
目指すべきだと考えるが、職員の異動について、どのように考えるか。

（回答/教育部長（要旨））

平成8年の市政施行の要件として、複合施設として（最初に開館した）大森図書館であるが、その際の図書館のコンセプトとして、自由に図書を手にとって、求める内容の図書を選んでもらうこと。更にはサロンのスペースを配し、図書を媒体にして潤いのある時間をすごしてもらおうとしたものであり、その考えは他の図書館の建設にも継承されていると思う。

それ以来、市教育委員会では、読書ニーズの高かった図書の購入や人口構成からニーズの高かった児童書の整備に力をいれながら、それぞれの分野に必要とされる図書の整備にも意を払い、バランスの良い蔵書構成に努めてきた。現状において平均的な市町村立の図書館としては機能しているものの、その反面で図書館が有しなければならないもうひとつの本質的な機能である「調査研究に対応する機能を満たしうる蔵書の整備、蓄積という点では充分とはいえない」と認識している。

しかし、図書館のバリューをはかる言葉として、「いかに長期間に渡り、良書をいかに多く貯蔵しているか」という面もあるので、その点が評価されていないのは、後発の図書館としてさびしい思いもある。

今まで、回答してきたように印西市の図書館行政は、人口構成も変化してきている現在、特殊ニーズも変化が見られ、非常に大きな曲がり角に差し掛かっていて、今後の方向性を含め、再検討すべき時期だと思っている。どうすれば特色のある図書館にすることができるか、一層の努力が必要だと考えるし、勉強していきたい。

（ぐんじとしのりより市民のみなさまへ）

市民の知る自由、学ぶ権利を保障していくために、資料・情報を徹底して提供していくという図書館の基本的な機能はいつになっても変わらないどころか、強化していく必要があります。「一人一人のそれぞれの人に、ひとつひとつのそれぞれの資料があり、ひとつひとつのそれぞれの資料には、一人一人の利用者がいる。」それが最終的には複数形としての本が全体の役に立つということになると思います。

### 県道南環状線の開通について

予定では、既に通し供用が予定されているところですが、確認したところ以下のことがわかりました。  
高花郵便局前/内川青年館入口（西の原小学校・ガソリンスタンド西側）に信号設置が供用開始前に予定されています。信号設置のための調査に入っているため時間がかかっているとのことです。  
（開通予定時期は8月下旬から9月にずれ込むとのことです。）

### 臨時議会が開催されます。

（仮称）平岡自然公園内に予定されている、火葬場施設ですが、7月28日（木曜日）に開催された、印西地区環境整備組合臨時議会において「工事請負契約についての承認を求める議案」が提出、審議されました。結果として、可決されました（私も賛成しました。）ので、本契約が行われ、**平成19年度の供用開始**を目指して、工事に入ります。（契約金額 17億5千万円/本体、電気、空調工事含む）

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き、定例会および以前に開催した臨時議会の報告を中心に行ってまいります。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と手を携えていきたいと思っております。よろしくご依頼致します。

ぐんじとしのり